

令和5年度学校評価報告書（定時制課程）

1 本年度の重点目標

- (1) 生徒個々の実態に応じて基礎学力を身に付けさせ、社会人として必要な力を育成する。
- (2) 勤労の価値を理解し、主体的に自己の進路を開拓する力を育成する。
- (3) 自分と他者を共に大切に、自己を成長させる意欲と他者と協働する力を育てる。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策 【教育活動に対する評価】（定時制課程）

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導 学校評価 アンケート 教務部	・「総合的な探究の時間」の見直しともに内容の充実に取り組んだ。学校教育目標にもある「社会人として必要な力を育成する」ことを目標として進めた。具体的な数値での評価はできていないが、効果があったと思われる。 ・ICT機器の活用や、タブレットやスマートフォンの利用に取り組むことができた。授業評価等の様々な調査でGoogleフォームを利用している。集計や分析も効率よく行えた。 ・学習状況に関して授業評価など定期的な把握に努め、結果を生徒への指導につなげた。	・良好である。 ・具体的な実証例を示すことができれば尚良いと思います。 ・定時制の生徒は、ICT機器になじめる生徒も多くいるのではと想像する。タブレットやスマートフォンを利活用した学習の工夫は大切である。ただ、生徒の習熟度を的確に把握しての丁寧な指導が肝要である。
改善方策	・「総合的な探究の時間」の内容の充実については継続して取り組む。 ・ICT機器の活用を進めると同時に、タブレット等を活用した学習指導の積極的導入、工夫と改善に努める。	
生徒指導 学校評価 アンケート 生徒指導部	・特別指導事故は1件、いじめの認知は0件であった。 ・生徒指導部と担任の連携を密にとり、サポート会議（毎月記載）で情報を共有することができた。また、パートナーティーチャー（PT）と連携し専門的な助言を活用しながら生徒を支援することができた。 ・生徒会行事の企画・運営も滞りなく実施できた。学校祭・ハロウィン企画・体育大会・感染症対策を講じながら問題なく実施できた。 ・遅刻・欠席者の固定化と恒常化があった。	・良好である。 ・遅刻者については、学校に時間通り来ることのシステムを考えたい。例えば、始業前活動等。 ・いじめ対応のフローチャート等情報収集・情報共有は勿論のこと次の具体的な行動の流れを全体的に落とし込むことによって、より迅速な対応がとれると思います。 ・心の機微に上手に触れられるような声かけを更に進めていただきたい。 ・PTを上手に活用していただきたい。 ・ピアサポートの要素を取り入れたHR活動の充実など、お互い(生徒)が安心できる場を作ることが大切である。
改善方策	・登校時の挨拶（声かけ）は継続し、遅刻防止の指導（声かけ）も合わせてを行う。 ・いじめに関しては啓蒙活動を行うとともに、計画的なアンケート調査や面談を通じて早期発見・解決を心掛ける。 ・生徒情報の共有と、PT等外部専門機関との連携を行う。 ・安易な遅刻や欠席の数を減らすための効果的な指導法について情報収集する。	
進路指導 学校評価 アンケート 進路指導部	・各学年ともに、計画的にキャリア養育を進めることができた。 ・進路のしおりやキャリアパスポートを活用することにより、進路行事の事前指導や事後の振り返りを行うことができた。 ・基礎力診断テストを行い、その結果を面談等で活用することができた（もっと活用できる可能性がある）。	・素晴らしい。 ・職業指導、キャリア教育の違いを理解し、そこを工夫すると尚良いと思います。 ・キャリア教育の充実を図っていただきたい。 ・外部の力（サポステ等）を活用していただきたい。
改善方策	・キャリア教育の全体計画およびキャリアパスポートの見直し、評価方法の検討と改善を行う。「総合的な探究の時間」での取組が多いため、教務部と連携する。 ・基礎学力の向上から自己肯定感を高め前向きに学習する意欲の醸成できるよう他分掌と連携して取り組む。	
健康安全 指導 学校評価 アンケート 生徒指導部	・ネットトラブルの未然防止のために、様々な機会を通じて生徒に注意喚起することができた。 ・支援が必要な生徒については、実態把握、個別の指導計画を作成した。サポート会議で全教員が共有し、支援を行った。	・良好である。 ・外部の専門機関と連携し対応をすることは良いと思います。 ・給食等を活用し、食育を進め、自己の健康安全について意識を高めていただきたい。
改善方策	・ネット未然防止に付いては今年度同様に様々な機会を利用して注意喚起を行う。 ・学校生活の中で支援が必要な生徒の情報共有を行うとともに、外部の専門機関とも積極的に連携する。	

【学校運営に対する評価】（定時制課程）

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
信頼される学校づくり アンケート項目なし	・連絡事項に関わり文書や一斉メールを利用して周知した。教育内容の保護者や地域への伝達としては、HPの利用以外は出来なかった。 ・体験入学会を実施した。今年度は定員を超える申込があった。 ・学習評価や授業評価をはじめとして、様々な評価や調査を行っているが、十分に活用できているとは言えない。	・良好である。 ・周知の手段として、SNS等の活用も検討してみたいかですか。 ・Webページやメール等の活用を積極的に行なっていくことは良いと思いますが、掲載＝周知徹底されたとはなりませんので、情報発信後のレスポンス率などその部分を工夫すると良いと思います。 ・保護者の共通認識を更に図り、風通しの良い学校づくりを進めて欲しい。
改善方策	・HPをこまめに更新することと、伝わりやすいようにレイアウトを改善する。 ・授業評価や基礎力診断テストの結果を学習指導に活かせるよう工夫させる。	
組織の活性化 アンケート項目なし	・教育計画に評価の観点を盛り込み、それを基準に学校評価を行った。その内容を次年度以降の学校改善に結びつけさせたい。 ・超過勤務はある範囲内に収められているが、時期により進路指導や湖定祭等で業務が多くなることもある。部活動指導時間は適正に守られている。	・良好である。 ・部活動指導時間の適正と部活動指導による人間教育の達成度は両輪でなければならないと思います。それらを工夫することに期待します。 ・教員の協働実践を高め、互いが補填し合える組織作りを進めていただきたい。
改善方策	・学校評価の内容をしっかりと次年度以降の目標設定や行事の企画運営に反映させる。 ・分掌業務の見直しと、ICTを活用した負担軽減に取り組む。	
教職員の資質向上 アンケート項目なし	・教科や分掌の研究協議会等への出席が多かった。次年度以降も継続していきたい。 ・節目ごとに管理職との面談を行うことによりある程度目標管理ができた。 ・機会ある度に服務に関する情報を提供し、教職員の規律を守る意識が保たれている。	・良好である。 ・研修目的によると思います。自己研鑽として研修しているのか、生徒の為に研修しているのか、何を目的に研修しているのかを明確にすると良いと思います。また、その研修結果及び成果を報告できると尚良いと思います。 ・負担にならないような効果的な研修の実施が肝要である。 ・全日制と合同研修は難しいが、教科や生徒指導などで交流できる研修も大切かと思われる。
改善方策	・校外で行われる研修会への参加を促すとともに、実践的な校内研修会の企画する。 ・教育者としての意識の高揚を図る。	
公表方法	学校ホームページ	

3 その他 ご意見等ありましたらお願いいたします。

- ・高校入試の倍率を見ても、いかに湖陵定時制が他から厚い信頼をえているが如実にわかる。ひとえに教職員の皆様の尽力の賜です。
- ・働き方改革のもと、健康に配慮して、生徒の自己実現に向けて更なる指導に尽力していただきたい。